



医療法人 厚生堂

長崎病院

広報誌

2024.9

vol.

136

むつみ

当院の理念

私たちは良質で安心な医療の提供により、患者様や家族の皆様との信頼を築き、常に「思いやりの医療」を念頭に、地域社会に貢献します。

目次

麻しん(はしか)について……………	1
当院の食事(病院給食)について……………	2-3

お知らせ……………4

麻しん(はしか)について

内科医師 香川 真由子

2024年になってから麻しん(はしか)に関するニュースを耳にすることが増えました。海外への渡航機会の増加や海外からの旅行客増加にともない、小規模な感染報告が相次いでいます。今後も感染者数が増える可能性があります。注意が必要な感染症です。

麻しんとは

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その**感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症**します。

発生状況

近年では2007-2008年に若者を中心に大きな流行が見られました。その際若年層を中心に2回目の麻しんワクチン接種が推奨され、2009年以降患者数は激減しました。

症状

感染すると**約10日後**に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。

2~3日熱が続いた後、39℃以上の**高熱と発疹**が出現します。死亡する割合は先進国であっても1,000人に1人とされています。

また麻しんウイルスに感染後、亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる脳の炎症を起こすことがあります。

予防

麻しんは感染力が強く空気感染もするので、手洗い、マスクなど通常の感染対策では予防できません。麻しんの**予防接種**が最も有効な予防法といえます。麻しん含有ワクチンを接種することによって、**95%程度**の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができますとされています。2回の接種を受けることで確実に免疫をつけることができます。現在は1歳と小学校入学前の2回ワクチン接種が行われていますが、ワクチン接種が行われていなかった年代、1回接種の年代の方もおられます。

① ワクチン接種受けたことがない

(1972年以前に生まれた方)

今まで麻しんにかかったことが確実である、または検査で

麻しんの感染が確認された場合は免疫を持っていると考えられます。予防接種を追加で受ける必要はありません。明らかでない場合はかかりつけの医師にご相談ください。抗体の検査を受け、必要であれば2回のワクチン接種を行います。

② ワクチン接種が1回

(1972-2000年に生まれた方)

母子手帳などで確認できるワクチン接種が1回の場合には免疫が十分ではない可能性があるため追加のワクチン接種が必要となることがあります。

③ ワクチン接種が2回

(2000年以降に生まれた方)

2回接種されていれば基本的には問題ありません。接種完了していない場合はワクチンの接種を推奨します。

注意すべき点

妊娠中は、特に注意が必要です。妊婦がはしかに感染すると、重症化したり、流産や早産を引き起こすことがあります。妊娠中はワクチンの接種が原則できないため、妊娠を希望する人はあらかじめ接種を受けることが重要です。

医療従事者、学校の先生や保育士など子どもと接する機会の多い人や海外に出かける人なども注意が必要です。ワクチンの接種歴をよく確認しましょう。

また**海外から帰国後2週間程度は麻しん発症の可能性**があるため、健康状態を観察しましょう。

麻しんかなと思ったら

麻しんを疑う症状がある場合は公共交通機関の利用を控え、医療機関に事前に連絡しましょう。感染力が非常に強いいため隔離が必要です。麻しんの最新発生報告数は、定期的に国立感染症研究所ウェブサイトに掲載されています。居住地近くで感染が認められているか確認することができます。

おわりに

残念ながら麻しんに対して有効な治療法は現在ありません。感染を防ぐためにワクチン2回接種でしっかりと予防することが大切です。

当院の検査・接種料(自費)

・抗体検査料…………… 3,900円

・ワクチン接種料… 8,880円(麻しん風しん2種混合)

病院給食は医療の一環として位置付けられ、「入院時食事療養」として運営されています。患者さんの年齢、性別、体格、身体活動量と病状や病期などを基に医師の指示により決められています。また管理栄養士による個別の栄養管理計画をたて、アレルギーや嗜好なども考慮した食事の提供に努めています。

当院においては、下記のような食事の種類と食事形態があります。私達管理栄養士は、低栄養を防ぐために、昼食時に病棟訪問して味付けや嗜好、食べやすさなど患者さんの声を伺い、看護師や言語聴覚士など多職種と連携して食事形態や分量、食器など個別対応を行っています。

当院の食事の種類と食事形態を紹介いたします。

食事の種類



一般食(形態に違いがある食事)

食事の種類

常食：厚生労働省が定めた食事摂取基準により献立を作成

軟菜食：軟らかい食材を使用し、切り方や煮方に注意

嚥下食：軟菜食よりもさらに軟らかい食材を使用し、小さく刻む、ミキサーにかける、とろみをつけるなど飲み込みやすい形態に調整

経口対応食：病状に応じて個別対応

常食



えんげ
嚥下食



特別治療食(含まれるエネルギー量や栄養素による違いがある食事)

食事の種類

エネルギーコントロール食：糖尿病の場合、エネルギー量の範囲内でバランスの良い食事

食塩制限食：高血圧や心疾患の場合、食塩6g未満

たんぱくコントロール食：腎不全の場合、たんぱく質を制限し、食塩6g未満

脂質制限食：肝炎や膵炎の場合、脂質を制限

易消化食：胃炎や腸炎の場合、消化管へ刺激が少なく消化吸収のよい食事

※特別治療食は医師の指示のもとでエネルギー量、たんぱく質、脂質、塩分等が決められている

食事形態

主食

希望に応じて軟らかさや量に配慮

- 常飯・軟飯・全粥・粥ミキサーと4段階の硬さがあり、また小盛り・中盛り・大盛りと量の対応
- 粥ミキサーはデンブun酵素を入れてミキサーにかけるので、プルンとして喉に付着せず飲み込みやすい

常飯



小飯 100g
中飯 150g
普通 200g
大飯 250g

軟飯



小飯 140g
中飯 210g
普通 280g
大飯 350g

全粥



小粥(1/2) 90g
小粥 180g
中粥 230g
普通 300g

粥ミキサー



※全粥・粥ミキサーの大盛りは個別対応

副食

そしゃくえんげ 咀嚼・嚥下の状態に合わせた食べやすい形態

普通



一口大きざみ



きざみ



小さめきざみ



極きざみ



ミキサー



とろみの形状

ごえん 誤嚥を防ぐため、状態に合わせてお茶・汁物・副食のとろみを調整



薄めのとろみ → 濃いめのとろみ

食器の工夫

自力で食べるのに箸・スプーン・フォーク等の他、フチ付きのお皿や介護用スプーン等も準備



フチ付きのお皿



滑り止めシート



介護用スプーン



新型コロナウイルス感染拡大防止のために

皆様へのお願い

- せきや熱などのかぜ症状のある方は、必ずご来院前に電話でご連絡をお願いします。
- 来院される患者さん・他全ての皆様、マスクの着用・手指消毒をお願いいたします。

入院患者さんへの面会について（感染状況により面会制限を設ける場合あり）

- 面会日時** 全日 13時～18時（退室18:30までに退出のこと） 予約は必要ありません。
- 面会条件**
- ・原則ご家族のみ数名で1回30分程度、各病室のベッドサイドで面会してください。
 - ・面会時は検温・不織布マスクの着用（患者さんも）をお願いいたします。
 - ・体調不調・発熱のある方は面会をご遠慮ください
 - ・患者さんへの差し入れは必ず看護師にお申し出ください。また面会に来られた方の飲食はご遠慮ください。
- 面会手続き** ・各病棟のエレベーターホールで面会票をご記入の上病棟内へお入りください。（体温の記入が必要です。）

糖尿病教室 『歩こう会』

日時：11月9日（土）
13：30～15：30（予定）
場所：長崎病院ヘルスケアセンター1階

演題 「糖尿病の運動療法」

講師 長崎病院 理学療法士 山崎 大地
講義後 病院周辺を一緒に歩いてみましょう

お申込みが必要です。
ご希望の方は外来受付まで

外来担当医表

診療時間 午前 8:30～12:00 / 午後 2:00～5:30

		月	火	水	木	金	土
午前	内科 【第1診察室】	住田 〈循環器〉	院長	山下 〈糖尿病〉	住田 〈循環器〉	院長	原 〈糖尿病〉
	内科 【第2診察室】	原 〈糖尿病〉	山下 〈糖尿病〉	中村 〈呼吸器〉	香川 〈呼吸器〉	香川 〈呼吸器〉	住田 （第1・3週） 熊谷 （第2・4週） 長崎/山下 （第5週）
	皮膚科・熱傷 【第3診察室】	蓮沼	鍋島	鍋島	鍋島	鍋島	森脇 （第1・3・5週） 末廣 （第2・4週）
午後	内科 【第1診察室】	熊谷 〈リウマチ〉	中村 〈呼吸器〉	長崎 孝平 〈腎臓〉	熊谷 〈リウマチ〉	山下 〈糖尿病〉	長崎孝平 （第1・3・5週） 山本 （第2・4週）
	内科 【第2診察室】	山崎 〈神経内科〉			三森 〈神経内科〉	* 箱田 〈リウマチ・痛風〉	
	皮膚科・熱傷 【第3診察室】	浪花	鍋島	神垣	坪井	松苗	休診

・都合により担当医が変更する場合がございます。 ・〈 〉は専門分野です。 ・*診察週が変動しますので事前にお問い合わせください。

2024年9月1日現在

長崎病院のめざす〔地域医療〕〔包括医療〕

長崎病院

- ・内科（循環器・呼吸器・糖尿病・リウマチなど）
 - ・皮膚科・熱傷センター
 - ・リハビリテーション（理学療法・作業療法・言語療法）
- ☎082-208-5801（代）

長崎病院ヘルスケアセンター

- （人間ドック・健診施設機能評価認定優良施設）
- ☎082-208-5791（代）
- ・訪問看護ステーション ながさき
- ☎082-503-3236（担当：久保田）

みささ文化ビル

- ・居宅介護支援センター
- ☎082-230-8181
（担当：滋野）

ほほえみの郷

- ・グループホーム あいあいホームながさき
- ☎082-532-6636（担当：荻原）
- ・デイサービスセンター ほほえみながさき
- ☎082-532-6630（担当：安永）

基本方針

1. 患者さんの生命の尊厳と人権を尊重します
2. 常に新しい医学・医術の研鑽に励み、良質な医療サービスに努めます
3. 明るく清潔で快適な医療施設を整えます
4. 思いやりの医療・看護・介護を目指します
5. 健全な経営を基盤とし、患者さんや家族の皆様及び職員に満足される医療機関となるよう努めます
6. 可能な限り患者さんのライフスタイルにあった自立した生活ができるよう努めます

患者さんの権利

医療法人厚生堂は患者の権利に関する「リスボン宣言」にのっとり、信頼される医療の提供を目指します。

1. 個人の尊厳を守るための支援を受ける権利
2. 良質で安全な医療を平等に受ける権利
3. 病状や治療について十分な説明を受ける権利
4. 検査・治療の選択について自らが決定する権利
5. 診療に関わる個人情報の保護を受ける権利
6. 診断や治療について、他の医師の意見を求める権利（セカンドオピニオン）
7. 健康増進・疾病予防を行うための健康教育を受ける権利



医療法人 厚生堂
長崎病院
〒733-0013 広島市西区横川新町3番11号
[JR横川駅 南口より西へ300m、西区民文化センター向い]
TEL 082-208-5801（代）
FAX 082-208-5821
駐車場完備

診療時間 午前8時30分～12時/午後2時～5時30分 休診日 日曜日・祝祭日

<http://www.nagasaki-hp.jp>

長崎病院 広島 検索

